

はばたき

編集・発行

松江市大正町443-1
本願寺山陰教堂内
山陰教区少年連盟

声の仏さま

出雲南組 福泉坊 藤井哲眞

小さい頃、夜にトイレに行くのにおばあちゃんによくついてきもらっていました。トイレは部屋から少し先に行ったところにあつて、暗くなると暗闇から何か出てきそうで恐かったからです。今、保育所に行っている私の子どもがちょうど同じように夜になると「トイレに行こうよ」と声をかけてきます。

トイレの中に入ってしまうと、おばあちゃんの姿は見えなくなります。おばあちゃんが外でちゃんと待っていてくれるか不安になつて、トイレの中から「待っててよ」と声をかけているんな話をしていました。外からおばあちゃんの「居るよ」の音が聞こえると「ちゃんと居てくれるんだ」と思つて安心することができました。おばあちゃんの姿が見えなくても、声が聞こえるだけで不思議と

安心できました。声の響きは「イルヨ」という響きだけど、その声にはすごい力があつたんだなあと今になつて思います。

私たちが手を合わせてお参りしている仏さま、阿弥陀さまは「南無阿弥陀仏」という声の仏さまとなつていてくださいます。その声は「ナモアミダブツ」という響きだけど、そこには「いつでもあなたの傍にいるよ、安心しておくれ」「つまずいても、転んでも、大丈夫、大丈夫。しっかりと支えているよ」という思いを込め、私に寄り添つていて下さいます。

直接姿を見ることのできない阿弥陀さま。でも「南無阿弥陀仏」のお念仏の声を通して「阿弥陀さまはいつも一緒にいてくださるんだ。」と、大きな安心をいただいで元気いっぱい過ごさせていただけますように。

『悩みに向きあう姿に感動』

— 寺族女性研修会報告 —

大田東組 専勝寺 金 森 麻衣子

七月八日・九日の両日、本山で行われました「少年教化寺族女性研修会」に参加しました。この研修会は組織拡充を見据え、今後の少年教化の担い手となりうる寺族女性の指導者を養成することを目的として、「育てようほとけの子」を研修テーマに行われました。

内容としては、講師として外松太恵子先生の「感動は記憶する」というテーマでお話しを聞いたり、またレクリエーションをしたりしました。

外松先生からは「皆さんはこれから子供たちの為に何かしようという思いの中でここに来られ、さまざまなことに感動し、生き生きとしてお帰りいただきたい」とお話しをされ、私は今回どんなことに感動するのだろうかと思ひに過ぎませんでした。

班別の話し合いの時に、それぞれの近況を報告し、また外松先生の話を受けて意見や感想を述べる中で、深刻



な悩みを持つ方がおられ、ひとりひとりの意見やお話しを聞くことも大切でしたが、班の皆さんが「この人の悩みをもっと聞いてあげよう」と声をあげて、何とか出来ないだろうかと意見を出し合い、また全体会に話をあげて先生方をはじめ、皆さんに意見を求めました。

私は女性の研修会にあまり参加したことがありませんでしたので、話し合いの雰囲気や悩みに向き合う姿、女性ならではの感じるこがたくさんありました。

寺族の女性もまたお寺の子供たちに関わりを持ちたいと願い、少年教化の担い手の一人として関わりをもつていただくには、女性が積極的に参加できる、こうした研修会が必要に感じます。さまざまなお話を改めて思い返す、また悩みに向き合う姿に感動した有意義な時間を過ごさせていただけますように。



山陰教区少年連盟 指導者研修会開催

少年連盟指導者研修会 全体の流れ

2日間、班で行動するので、班内で打ち解けられるよう、スタッフも雰囲気作りを大切に!

荷物の置き場所をつくる。

水分補給も忘れずに!

22:00	21:00	19:30	18:00	17:30	15:30	15:00	14:00	13:30		1 日 目
就寝 消灯	就寝準備 サービ ス② キャン ド ル	(室内 ファイ ヤ ー) 夜のつど い①	班活動 夕食 お勤め	(夜のつど いで歌う)	(この村)入浴	(フルー チエ)おやつ	班活動	記念撮影 開会式	受付	
	60分	90分	90分	30分	120分	30分	60分	30分	30分	

何回も見回りをして、早く寝よう注意する。夜中トイレに行く子がいれば、起こしてあげる。具合が悪い子がいないか注意する。

低学年は好き嫌い、高学年はお代わりをよくするので気をつける。また、アレルギーの子どもがいたら確認しておく。

はじめ館内で整列し、他のお客さんに迷惑をかけないように、マナーや諸注意をする。

1日目の注意点

- ・1泊の子ども会は班別で行動した方がスムーズに進行できて、まとまりやすくなります。したがって班のチームワークが必要となり、バラバラだと全体がだらけてしまいます。そこで班分けが重要となります。
- ・班分けは子どもの年齢など・バランスもあるので会所のスタッフにお願いし、事前に班分けをした方が良いでしょう。
- ・休憩は充分にとり、全体的にゆったりと流れるよう心がけます。詰めすぎは要注意!
- ・夜のつどいの時、子ども達にスタンツをしてもらいます。スタンツとは出し物であり、昔話に因んだ寸劇をしたり、歌を歌ったりします(5分程度)。今回は昔話を中心に劇をしました。1日目の休憩時間は主にスタンツの話し合い・練習の時間に費やします。そうすることで空き時間を有効に使い、かつ、班の団結力も育ちます。



③トーチは新聞紙またはもぞう紙などを用いて、先っぽに赤いセロファンを巻きつけるか、赤のマジックなどで色づけをする。

①電球は炎に近い色あいが出るように赤いセロファンを電球のまわりに囲むとよい。
②炎は強弱のコントロールができるコントローラーを用いる。
③トーチは新聞紙またはもぞう紙などを用いて、先っぽに赤いセロファンを巻きつけるか、赤のマジックなどで色づけをする。

④「燃えろよ燃えろ」を歌う。
⑤リーダーがトーチを持ち、「点火!!」と言いついで、火をつける。その時に装置の電球をONにする。真っ赤な炎が燃えさかる。
⑥盛りあがったところで「すいかの名産地」など、いろいろな歌を歌う。
⑦終わりに「遠き山に日は落ちて」を歌い、火を徐々に弱めながら消していく。



室内キャンプファイヤー
邑智西組 光西寺 石橋直人

キャンドルサービス「当日の流れ」

江津組 浄光寺 能美顕之

- ① 本堂右縁に子供集合、班ごとに整列。蠟燭を渡す。諸注意(私語禁止、火の扱いなど。)本堂の照明出るだけ暗くする。
- ② BGM入。リーダーの先導により一列で入堂。円形を作る。円形が整えばBGM止。
- ③ リーダー、祖師前の蠟燭より分灯。円に入る(尊前側中央。一同尊前に合掌礼拝。
- ④ リーダーの「それでは阿弥陀さまの灯を頂きませす」の言葉を合図にBGM入。子供たちの蠟燭に分灯(リーダーより左右に)。全員に分灯終了を合図にBGM止。
- ⑤ リーダーの言葉(詩の朗読)。終了後、恩徳讃唱和(アカペラ)
- ⑥ 子供の感話(各班代表者)
- ⑦ 蠟燭の灯消す(スタッフが消す) 全員消火後、尊前に合掌礼拝。リーダーの先導で退出。



室内ファイヤーの後のプログラムということで、動から静へのメリハリをつける事を意識しました。子供たちには火の扱い(特に分灯の際)を特に事前の注意点として伝えました。会場係(子供の間に入り、円形を作る際の誘導。子供の分灯補助、消火)を設け、小さな子供のケアにあたってもらいました。子供の感話、少し張り詰めたような空気が和らぎ、良かったです。また、「蠟燭立」(写真上)のお陰で蠟燭を下に置くことが出来ました。みんな座った状態でのキャンドルサービス、合掌礼拝も丁寧が出来たように思います。全体を通して、市木の本当に素直で純粋な子供たちの協力の中、トラブルもなく、スムーズに流れたように思います。

2日目の注意点

- ・いつもと違う環境で1泊するので、だいたい子どもは興奮して寝付かず、睡眠不足となりがちになります。1日目よりも子どもの体調管理を気かけましょう。
- ・1日目と同様、時間をゆったり使い、休憩・水分補給をしっかりとります。

13:00	12:30	11:30	9:30	8:00	7:00	6:30	6:00	2日目
解散	閉会式	アンケート 屋敷	ゲーム大会 (対抗ゲーム) ③	クラフト (紙コキを飛ばそう)	お勤め 朝食	ラジオ体操 掃除	洗面 起床	
	30分	60分	120分	90分	60分	30分	30分	

アンケートの時、特に低学年はなかなか書けません。スタッフも一緒に考えてあげましょう

ゲーム大会ではタバコのついでとゲームが被らせをしっかりとります

掃除をする場所は、会所の方に指示していただく

たとえ早く目が覚めても6時までは起きない(まだ眠たい子がいるから)

紙飛行機・新聞を使った対抗ゲーム

佐渡組 浄土寺 西原慎治

二日目ゲーム大会の時間では、朝のクラフトの時間で作成した紙飛行機を使って、飛距離と飛行の正確さを個人で競うゲームを行い、続いて古新聞を使ったチーム対抗ゲームを行いました。

この時、本堂で遊ぶ場合のルールや決め事などが、子供たちへの伝道場になることを心したいものです。例えば、飛ばした紙飛行機が内陣に入らない様に扉を閉めたりして配慮する場面では、お荘厳を通じてお浄土をお敬いする心から、大事なお荘厳が傷ついたり痛まないよう、そのように配慮していることを伝えることができます。

新聞を使った対抗ゲームとして、指定した文字をいくつ紙面から探せるかを競うチーム対抗ゲームや、二人一組になり、一人が二枚の新聞を前に渡しなが、もう一人がその新聞の上を渡る島渡しリレーや、なるべく切れない様に新聞をちぎり、つなげて長さを競うチーム対抗ゲーム等を行いました。内容は、年少さんでも参加できるものを選び、また子供の集中力を保つために飽きがる前に次のゲームに移るように配慮しました。

新聞のちぎり方等、私自身の中になら子供が発想に驚かされることもありました。このようにお互いに刺激を受け、大人と子供の垣根なく共に楽しみながらゲームを進めることができるのは、こども会の醍醐味であると感じます。



全体を通して

- ・時間通り進まないのが1泊の子ども会です。予定時間を多めにとり、余れば休憩を長めに取ることも大切です。
- ・1泊の子ども会はどうしてもスタッフの人数が必要となります。寺族の方や仏婦・仏壮の方は主に裏方に回ることが多いので、子どもと一緒に行動するスタッフは少人数となり、特にお寺単位の子ども会ではリーダーが独りの場合がよくあります。一人でも出来るようにスケジュールを詰めず、スタッフの休憩時間を作る(みつける)ことも1泊2日の研修会では大切なことです。

サマースクールに参加して

邑智東組 高善寺 武田正文

昨年の夏、「サマーキャンプでギターを弾いてみない？」とお誘いいただきました。私のギターは皆様の前で披露できるようなレベルではなく、引き受けさせて頂くのに躊躇しておりました。どうするべきか迷っていると、「失敗しても子どもと一緒に楽しめたらいいから」と背中を押して頂き、思い切って参加することにしました。

遠き山に日は落ちて、燃えるよ燃える、スイカの産地というキャンプにびったりの三曲を歌いました。キャンプファイヤー本番前の練習では、はじめこそ子どもたちの表情は固かったものの、次第に笑顔と一緒に歌えるようになりました。きつと私の緊張がほぐれるのに合わせて、みんなも楽しめるようになったのだと思います。

本番では、みんなで声を合わせて歌い、その後のゲームなどとても楽しむことができました。そんな中で、子どもたちは真剣な表情で手を合わせており、一人ひとりが仏様と出会う体験になっていたように思いました。キッズサンガでは子どもたちと一緒に楽しむことこそがなによりも良いご縁になるということを実感いたしました。

クラフト よく飛ぶ紙ヒコーキを作ろう!

今回は、自由な紙ヒコーキを作ってもらうのではなく、こちらから見本となる紙ヒコーキを子どもたちといっしょに折り、より遠く、より長く飛ばせるように工夫をしながら楽しみます。一見、簡単そうに見えて、実は奥が深く、まっすぐ、きれいに飛ばそうと思うと、投げ方や微調整が必要となります。

進行と注意点

- ①説明を聞きながら実際に折っていく。
- ②できたら飛ばし、微調整を繰り返す。
- ③どれが一番遠くへ飛ばすか計測する。
- ④次、滞空時間の長さを計測する。(対抗ゲームにも取り入れ可能)
- ⑤作った紙ヒコーキは、お土産として持って帰る。

☆他の遊び方

- ①的を作りめがけて飛ばす。
- ②箱を的にして飛ばして中に入れる。

教区指導者研修会を終えて

邑智西組 浄泉寺 朝枝三暁

市木地区のサマースクールを、下市木光西寺様と会所を交互に引き受けながら合同で開催し、今年で八回目に なります。「若い者が参らなれないのではなく、ご縁がないと参らない」を合言葉に「お寺を子供たちの居場所へ」の大きな柱のもと、サマースクールの灯はそのままお寺の未来へつなげる灯と位置付け、活動を続けてまいりました。

お寺に子供たちを集めると、ゲームに仏参となりがちですが、まず本堂へあがって手を合わせることを第一にしています。お寺の幼稚園や保育園へ通っておられるお子さんの御家族から、朝、仏壇に子供が一番先に手を合わせに行く、と言う話を聞くことがあります。今でも当山にあった保育園に通っていたことを嬉しそうに話される大人達の姿を見て、子供たちが「阿弥陀様とのご縁づくり」をしているように思います。また、当山の日曜学校は、三代前の住職の頃から行われており、八十代、九十代の先輩たちが、懐かしそうに日校の思い出話して下さいます。地域の子供の数が減り、サマースクールに参加してくれる人数も少ないですが、「子供の頃、お寺の行事に参加した」という話ができる大人がこれからも、たくさん居て欲しいと思います。

今回は、教区指導者研修で、例年以上に盛り上がりました。「楽しい時間をお寺で過ごした」という体験が、子供たちと阿弥陀様とのご縁をつないでくれていると思います。



ひとりごと

今年度の一泊研修会。残念ながら、私には経験がありません。しかし、五十年近く続く日曜学校は今も続いています。

よく坊守と「何が楽しいのかなあ」と話をしますが、みんな楽しみに来てくれます。日曜学校では、勤行、法話の間三十分程は正座です。はじめはモゴモゴ動いていた子どもも、一年もすれば、親御さんもびつくりするほどきちんと座れる様になります。その後のゲームはかなりアナログ。かるたとり、宝さがし、花いちもんめなど、今も昔も子ども達は一生懸命楽しんで遊びます。そんな姿に、私自身も「こんな時があつたなあ」と思いを深めています。

時代が変わり、物が豊かになり、便利になり、デジタル化されていますが、アナログもいい！もう一度思い出してみませんか。幼い頃、どんな事をしていたのか、楽しんでいたのでか：今の子ども達もきっと楽しんでくれると思います。(M)